



会報浦和支部

第 110 号
2025年3月15日発行

発行人
埼玉県行政書士会
浦和支部
支部長 山崎 智博

2025年3月1日現在
総会員数 309名

2025 (令和7) 年 新年会

2025年新春を寿ぐ埼玉県行政書士会浦和支部恒例の新年会が、1月10日(金)埼玉会館ビストロやまにて、本年も盛大に開催されました。今年の新年会は、総勢71名が参加、過去最高の集まりとなりました。

17時過ぎから浦和支部の会員が三々五々参集し、それぞれに新年のあいさつを交わしながら会場入りしました。初めに参加者全員で記念写真を撮り、17時30分小野寺信夫総務部副部長の司会で新年会が始まりました。冒頭、山崎智博支部長から年頭の挨拶が述べられ、続いてご来賓よりご挨拶をいただきました。

この後、嶋根賢一常任相談役の乾杯の発声に参加者全員で唱和し、懇親会の始まりです。用意された各種飲み物と食事をとりながら、参加者で名刺を交換する方、近況を話すグループなど、思い思いに談笑し懇親を深めました。

途中盛り上がりが出てきたところで、昨年新たに支部に加入した新会員を紹介し、それぞれの会員から一言挨拶や抱負を語ってもらいました。

そしていよいよお楽しみ抽選会です。小日向史成総務部員司会のもと、受付の際に抽選箱に入れていただいた名刺を使い、当選者が次の当選者を抽選箱から引き当てるという形式で行われました。40品ほどの豪華景品が用意され、会場のあちこちから当選者の歓声が上がりました。昨年60周年記念行事で配布し大好評だったユキマサくんカレーも再び登場しました。

宴も酣となった19時半、小栗重美相談役から中締めのご挨拶をいただき、新年会はお開きとなりました。

今年はこの後、同一会場で第二部も行われました。第二部は立食形式からテーブルを囲んで着座する形式に変更となりました。それぞれの世代や経験年数の違いを超えて、ゆっくり語り合う有意義な時間となりました。

それぞれ談笑しながら20時30分、お開きの時間を迎えました。藤田義晴相談役から本締めのご挨拶をいただき、恒例となりつつある前原百合会員と今年の年男年女の唱和で三本締めの手拍子を全員で威勢よく行って、2025 (令和7) 年新年会も終了となりました。

(総務部 市原 忠澄)



左から、高橋大宮支部長、増田川口支部長、赤坂本会会長代理、山崎支部長、清水市長、浦和レッドダイヤモンドズ(株)折下取締役、浦和レッドダイヤモンドズ(株)山下様



歓談風景



記念写真



ご縁をつなぐお楽しみ抽選会

第2回 一般研修会



服部講師

2月17日(月)、浦和コミュニティセンターで「空き家問題と行政書士業務」をテーマとした研修会を開催しました。空き家問題は全国的にも埼玉県においても関心の高い問題ですが、今年度の浦和支部総会で、「空き家問題に関する研修を希望する」との声が会員から出されたことを受けて、今般、埼玉県行政書士会空き家・所有者不明土地対策委員会の服部隼和委員長(川越支部)を講師にお迎えいたしました。31名(浦和支部28名、川口支部2名、越谷支部1名)が参加し、関心の高さがうかがえました。

空き家と相続は切り離せない関係にあるため、相続業務で終わらず、その先に発生しうる空き家問題に関して行政書士が知見を持つことは重要であり、果たせる役割は非常に大きいこと、空き家問題は地方自治体にとっても関心事項であるため、行政と手を組める分野の一つであること等を、実際のご経験をもとにお話いただきました。また埼玉県の現状や施策についても豊富な資料をご準備いただきました。

研修アンケートでは、「法令や県の取り組みについて説明していただき助かった」「詳細な資料が沢山あり良かった」など好意的な声が寄せられました。

今回は、総会で会員から出されたご要望が研修会として実現された初めての企画となりました。今後も、会員のニーズに沿った有意義な研修を企画していきたいと考えておりますので、研修に関するご意見・ご要望があれば是非とも企画部までお寄せいただけますと幸いです。(企画部 長縄 美樹)



研修風景

緊急時等業務サポート制度

会員の皆さんは支部に「緊急時等業務サポート制度」というものがあることをご存じでしょうか。これは新型コロナウイルスの蔓延時に業務遂行が難しくなった会員をなんとか支部会員同士で助け合うことはできないだろうかというところから制度設計を始め、令和2年12月から施行されてきた支部独自の共済制度です。

幸いにもコロナ渦中において実際の適用事例は1件だけにとどまり、当時最も心配していた罹患者の隔離措置などの適用もなくなった今、役目を終えつつあるような状態になってきました。

本制度はいざというときにとても役に立つ大きな意義を持った制度ですが、このまましていると誰からも忘れられ、使われないまま錆びていってしまう。しかしそれはあまりにも惜しいので、なんとか別の形で運用を続けていくことはできないかと模索していました。

そこで年末の理事会で規程改正をし、サポーター登録をしている方には会員の緊急時への対応だけでなく、支部宛に来る一般市民からの業務依頼への対応もできるようにしました。これによって元々の緊急時だけの運用ではなく平時にも別の形で運用を続けることができ、かつ、いざというときにすぐ動けるという形を整えることができました。

2月4日の新制度説明会には約30名の方がご参加くださいましたが、本来、これは全支部会員にご理解いただけておくべきものだと思っております。詳細についてはホームページでご確認ください。また、サポーターの登録は随時追加受付をしていますので厚生部長、または支部長までお問い合わせください。

(支部長 山崎 智博)



説明会の様子



支部ホームページをご確認ください

新会員・役員交歓会

11月15日(金)午後6時より、浦和伊勢丹7階のクローバルルームにて、新会員・役員交歓会を開催しました。出席者は新会員8名、役員11名、厚生部員3名の22名でした。

前原百合厚生部員司会のもと、久木田英樹副支部長の開会のことば、山崎智博支部長の挨拶、嶋根賢一常任相談役による乾杯で交歓会がスタートしました。

会場隣のイタリアンレストラン「アズーリクラシコ」のお料理と飲物を、立食形式で楽しみながらの交歓会でした。新会員の皆さんは、はじめはやや緊張しながらのコミュニケーションでしたが、途中全員で写真撮影を行いつつ会が進むに従い緊張も解け、役員や新会員同士、あいさつや業務についての話題など、活発な交流が行われました。

しばしの歓談後、新会員の自己紹介を行いました。今回もとても様々な経歴をお持ちの方が多く、それぞれの経験や行政書士を志した経緯、行政書士として目指すところなどをお話いただきました。

続いて、支部役員から自己紹介および各部の活動紹介が行われました。各役員が豊富な経験を踏まえて新会員に向けて語る想いは熱を運び、時間もやや押し気味となりましたが、新会員にとっても参考になり、刺激になったのではないかと思います。

新会員、役員双方からの自己紹介とメッセージも踏まえた交流や情報交換で会もますます盛り上がり、まだまだ話は尽きない様子でしたが、時間に限りもあり、最後は福本恵副支部長の閉会のことばで、本年度の新会員・役員交歓会を盛会のうちに終了しました。(厚生部副部長 高橋 功)



参加者一同

渉外監察部の活動について

浦和支部の皆様、こんにちは。渉外監察部の岸秀洋です。

渉外監察部の部員となって、まだ1年未満ではありますが、部の活動内容をアピールさせていただきます。

浦和支部の集まりや活動に積極的に参加し始めて3年ほど経ちますが、正直なところ「渉外監察部」がどんな活動をしているかわからず、お声をかけられるままに部員となりました。

市民相談員をやらせていただいていたので、その担当をしている部であることくらいは認識でした。そもそも何故、「渉外監察部」が市民相談の担当なのかも理解していなかったわけですが、部の名前に「渉外」とあるだけに、行政や関係機関との渉外活動の一つとして「渉外監察部」にて担っているわけです。

市民相談員の活動でいえば、市役所や各区役所の担当課との折衝・連絡窓口としての活動のみならず、市民相談員研修の企画・開催を行っています。

また、関係機関との渉外活動として、浦和支部管轄内の関係機関に貼ってある行政書士のポスターは、我々、渉外監察部にて毎年ご挨拶に伺い、貼らせていただいております。

他にも「監察」とあるとおり、非行政書士による行政書士法等違反活動をしているところが無いか、常にアンテナを張り、ネット上の監察活動等もしています。

最近では、埼玉県行政書士会と県内の金融機関との連携に向けての動きが話題にありますが、浦和支部管轄内の金融機関との連携は「渉外監察部」にて担当窓口をさせていただくことになります。

このように、市民相談員活動や関係機関との連携など、行政書士活動の更なる飛躍や発展にも寄与できるともやりがいのある部です。

まだまだ経験不足な私ですが、浦和支部の皆様にご貢献できるよう部の諸先輩方と力を合わせて精進して参ります。今後とも「渉外監察部」の活動へのご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

(渉外監察部 岸 秀洋)



渉外監察部作成の「市民相談員対応マニュアル」 非行政書士排除表示板 関係機関に設置しています



行政書士倫理綱領の再確認を!!

誠実に業務を行い、
行政書士の使命を果たそう

埼玉スタジアム2002の 電光掲示板に 浦和支部が掲載されました



「埼玉県行政書士会浦和支部」電光表示

浦和支部では、浦和レッズとの包括連携協定をより強固なものとするべく、浦和レッズとの協業を模索してきました。その中で、今年度は「レッズビジネスクラブ(RBC)」へ入会しました。

レッズビジネスクラブ会員特典である「埼玉スタジアム2002でのホームゲーム時にスタジアム場内・試合前の電光掲示板での会員企業の紹介」に関する2024シーズンの状況について報告いたします。

レッズビジネスクラブ入会後、特典の割り当てがあった試合は4試合でした。その中で、チケットがソールドアウトし55,184人の観客が詰めかけたシーズン最後の試合前に、スタジアム内の電光掲示板に「埼玉県行政書士会浦和支部」が表示されました。メインスタンドの中央でしたので、たくさんの観客にPRできました。

また、毎試合、スタジアム内にある通路の2か所で、会員企業の一覧を掲載したボードに「埼玉県行政書士会浦和支部」も掲載されました。ボードは大きな売店のある人通りの多い通路に設置されていたので、たくさんの人に浦和支部の名前を知っていただけました。

2025シーズンも引き続きレッズビジネスクラブ会員となり、浦和レッズ関係者をはじめ、浦和レッズのファン・サポーターにも浦和支部をPRしていきたいと思います。

会員特典の「埼玉スタジアム2002ホームゲームペアチケット」も、引き続き席の割り当てがあります。ぜひ、会員の皆様にスタジアムの雰囲気味わっていただきたいと思います。奮ってお申し込みください！

(広報部長 栗原 崇)

行政書士試験

11月10日(日)、獨協大学において令和6年度行政書士試験が実施され、当支部からは10名の会員が試験監督員等として協力しました。



お疲れ様でした

メールアドレス変更の際は 支部への届出をお忘れなく！

現在、支部からのお知らせは、支部に登録いただいたメールアドレスへ通知をするようにしています。使用するメールアドレスが変更になった場合、支部への届出をしていただかないと、支部からのお知らせが届かなくなってしまう可能性があります。メールアドレスを変更した際は、本会だけでなく、支部へも変更の届出をお願いいたします。支部ホームページから提出できます。

また、近年グーグルの提供する「Gmail」のメールアドレスへのメール不着が増加しています。グーグルのスパムメール対策の強化に支部のメーリングリストのメールアドレスが引っかかってしまっているようです。Gmailアドレスを登録されていて支部からのメールが届いていない方は、迷惑メールの設定の見直し・登録メールアドレスの変更をお試ください。



会員ページ「★支部への届出・報告等」はこちらです



カフェ広報部



行政書士専業で20年以上やっていますが、全く飽きることがありません。新しい分野が誕生したり、制度改正にヒイヒイ言いながらついて行ったり…私は、あと20年くらい頑張る予定です。どうぞよろしくをお願いいたします！

(広報部副部長 井川 圭子)